

2025 年 11 月 10 日

JISART の卵子提供に関する基本的立場について

一般社団法人 JISART（日本生殖補助医療標準化機関）は、生殖補助医療における倫理性・透明性・人権尊重を基本理念として、「非商業主義」と「生まれた子の出自を知る権利の尊重」を二本柱として活動しています。

一部で、JISART と他団体（例：CREMED）が混同され、営利的活動を行っているかのような誤解が生じていますが、JISART は独立した組織であり、金銭的対価を伴う卵子提供は一切認めておりません。

1. JISART の基本原則

（1）非商業主義の堅持：JISART は、卵子・精子・胚などのヒト由来の生殖細胞を営利目的で取り扱うことを一切認めていません。提供は無償（非商業的）を原則とし、金銭的対価を目的とする提供・媒介・仲介行為を容認しません。

（2）生まれた子の出自を知る権利の尊重：JISART は、卵子・精子の提供を受けて生まれた子が自らの出自を知る権利を有するという国際的倫理原則に基づく運用を行っています。将来的に子が提供者の身元情報にアクセスできる仕組みを重視します。

2. 今後の対応と姿勢

- ・卵子提供に関する基本方針を明確化し、一般公開する。
- ・他団体との混同を防ぐための情報発信体制を整備する。
- ・倫理委員会・広報委員会の連携を強化し、社会的説明責任を果たす。

3. 結びに

JISART は、「非商業主義」と「生まれた子の出自を知る権利の尊重」という二つの倫理的原則をもとに、患者・提供者・そして生まれてくる子の人権と尊厳を守る活動を続けております。今後も、社会的信頼と倫理的自律のもとで、生殖補助医療の健全な発展に寄与してまいります。